



下和泉小だより 6月号

令和5年5月31日

50周年スローガン

未来へ向かって 絆をつなごう ～笑顔満開 下和泉～



横浜市立下和泉小学校

副校長 玉置 智子

若葉の緑が鮮やかで、木々を吹き抜ける風もさわやかな5月が終わろうとしています。

土曜日に行われた運動会では、4年ぶりに保護者の人数制限を設けず、地域の方々も来校され、多数の皆様のご参観をいただき誠にありがとうございました。お陰様で、子どもたちは練習の成果を思い切り発揮することができました。PTA 役員の皆様には、早朝よりの諸準備、また、開催中の安全パトロール等に取り組みいただきまして、誠にありがとうございました。

今年度は、50周年記念運動会ということで、PTA よりテント、「未来」「絆」「笑顔」のキャラクター入りのタオルマフラー、6年生が演技で着用する法被をいただきました。



22日には、PTA 役員さんから6年生へ法被の贈呈式が行われました。PTA 役員さんが考えたソーラン節の



海に桜が舞い散る下和泉らしいデザインに、子どもたちは感激していました。法被を着て演技した6年生は、最高の思い出となったことでしょう。そして、これからも下級生たちへ引き継がれていくことでしょう。



さて、先日図書館へ行ってみると子どもたちが調べ学習をしていました。子どもたちが本を持ち寄りながら、分からないことや疑問に思うことを伝え合っていました。自分たちで学びを広げている姿をみて、一生懸命考えても分からないときには、調べてみる、人に聞いてみる、確かめてみる過程を大事にするということが学習の質を高めるのではないかと思います。調べてみるには、調べる方略を知ることが大切です。人に聞いてみるためには、コミュニケーションの力だけでなく、聞くことや援助を求めることの価値を知ることが必要です。学習の結果だけではなく、子どもたちの学びの過程へどのような手がかりを与え、取り組みに価値付けができるかということを意識させたいと思います。子ども一人一人のよさや意欲を引き出せるように、教職員一同、今後も取り組んでいきたいと思っています。引き続き、家庭・地域でのより一層のご支援をよろしくお願いいたします。